



国際交流員 イーシェンの

Xuan's デイズ

Vol. 17

シンガポールの海

皆さん、イベントが少しずつ開催されるようになりましたね。今年の夏はどこかへ行く予定はありますか。私は去年、町内でマリンスポーツを頻繁にしました。今年は河和の花火大会も開催予定らしいので、今年の夏も楽しみにしています。

「綺麗な海に入りたい」、「白砂ビーチで遊びたい」、そのような気持ちで今月は「海を守ろう!」というテーマでシンガポールの海とビーチクリーン活動についてお話したいと思います。

シンガポールは日本と同じく、島国であり、海に囲まれています。しかし、シンガポールは日本と違って、マレーシア、インドネシア、フィリピン等、近隣国家が多く、長雨の期間「Monsoon Season(モンスーンシーズン)」になると、大量の海ごみがシンガポールのビーチや海岸に流されてきます。

世界で最も清潔な国の一つと言われているシンガポールにそれほどのごみが存在しているのは考えづらいかもしれませんが、清潔でいられるのはほとんど政府とボランティア団体のおかげです。

Facebook



Instagram



シェンが管理しているSNSアカウントです。
(いいね!・フォロー)ご支援お願いします!

シンガポール政府はごみに対し、主に2つの方針を取っています。1つはごみを増やさないよう、ごみをポイ捨てする人に罰金(一回に約\$300、3万円)や社会奉仕をさせること、もう1つは清掃員を雇うことです。政府が実施しているビーチクリーン活動は普段、1ヶ月に4回、もしくは1日に1回ですが、モンスーンシーズンになると、それが1日に2回に増えていきます。

政府以外にも、ボランティア団体や非公式グループも多く存在しています。友達だけのグループでオンラインで広がり、参加者がどんどん増えていき、今は800人の巨大グループになっているという例もあります。そのような形で実行しているグループは美浜町にも複数あって、私も参加してシンガポールのビーチ事情について共有したことがあります。



▲町内ビーチクリーン活動の様子

その時の参加でかなり印象に残ったのは、子どもの参加者たちに聞いた質問に対する回答です。質問は「日本のようにマナーを守り、ごみを捨てないようにしましょう」という習慣と「シンガポールのように罰金で取り締まる」法律、どちらのほうが好みかです。

皆さん、どちらの方が好みですか。